

## 財団法人ビクター伝統文化振興財団 設立趣意書

人類がかつて体験したことのない高度な科学技術の発達によって、情報文化を中心とした現代文明社会が形成された今日、人びとは物質的な豊かさは獲得したものの、精神的・文化的両面においては必ずしも豊かで安定した状態におかれているとは言えません。まさに今後は、人びとの精神的・文化的領域における欲求を十分に満たし、併せてそのレベルアップに最大限の努力を傾注しなければならない時代的趨勢にあると考える次第であります。

幸い、我が国には諸外国に類を見ない日本古来からの伝統文化が存在しており、また、それらを支える重要無形文化財保持者（人間国宝）をはじめ、多くの優れた個人・団体が活躍しております。

しかしながら、マスメディアによる情報文化活動が中心的位置を占める今日、これらの我が国独自の伝統文化はその陰に押しやられ、一般の人びとが直接鑑賞・体験する機会が急速に減少しているのが現状であります。すなわち、伝統文化を取り巻くこのような今日的状況が、我が国独自の優れた音楽・芸能等の無形文化財・民俗文化財の衰退に拍車をかける大きな要因になっていると言わざるを得ないのであります。また同時に、日夜たゆまぬ努力と研鑽をつづけて伝統文化を今日まで継承してきた優れた無形文化財保持者等の高齢化も著しく、この点からも当該文化の存続並びに技能レベルの維持対策等が緊急かつ重要な課題として浮上してきております。

そこで私どもは、日本ビクター（株）創立65周年ならびにビクター音楽産業（株）創立20周年を機に我が国の伝統文化の将来を見据え、関係者等と一致結束し、衰退の恐れのある音楽・芸能等の無形文化財・民俗文化財の優れた技能の記録・調査・保存、生涯学習活動を通じた当該文化の啓発と後継者の養成、さらに、優れた個人・団体を中心とした当該文化の海外への紹介と国際文化交流等を目的とした「財団法人ビクター伝統文化振興財団」の設立を願うものであります。

今後は本財団法人の掲げる目的達成のために積極的な活動を通じて、文化的危機状況におかれている伝統文化の記録・調査・保存をはじめ、総合的な普及・振興を図るとともに、広く一般の人びとの興味と関心を喚起し、理解を求め、よって我が国の文化の向上並びに発展に寄与すべく努力する所存であります。

以上